

学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	奥谷 彰男

開催日時	令和2年1月29日(水) 授業見学14:25～15:15、協議15:30～17:15
開催場所	府立高槻北高等学校 授業参観:4階、協議:1階 校長室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲委員、小澤康信委員、中村利久子委員 柏原泰和委員、山口育男委員
出席者(学校)	奥谷彰男(校長)、伊藤倫隆(教頭)、赤岸孝紀(事務長)、 本村眞章、相澤 崇、安田正彦、高木佐智子
傍聴者	0人
協議資料	冊子資料 第3回学校運営協議会次第／委員名簿ならびに本校出席者一覧 令和元年度第2回学校教育自己診断集計結果報告 第2回学校運営協議会 議事録 配席図 別紙資料 第2回学校教育自己診断(自由記述)生徒用・保護者用 第2回学校教育自己診断の結果について(保護者配付用資料) 授業評価アンケート結果 「平成31年度(令和元年度)学校経営計画及び学校評価(案)」 「令和2年度学校経営計画(案)」
備考	

議題等(次第順)
1 開会宣言(教頭) 2 開会挨拶(校長) 3 本校の現状と課題 ○第2回学校教育自己診断、授業アンケートについて(本村首席) ○平成31年度学校経営計画(評価案)について ○令和2年度学校経営計画(案)について 4 質疑応答、協議 5 閉会挨拶(校長) 10 閉会宣言(教頭) ※1年3組 物理基礎 担当:堺 和則教諭、1年2組 数学A 担当:相澤首席

協議内容・承認事項等(意見の概要)

●授業見学

ICT機材を活用した授業(物理基礎、数学A)の見学を行った。

・高校の授業でグループワークを行っていることを知り、勉強になった。

●本校の現状と課題(「第2回学校教育自己診断集計結果」に基づいて) ※()内は学校運営協議委員

本村首席が、①生徒用の集計結果、②保護者用の集計結果、③教員用の集計結果、④自由記述、⑤学校側の分析結果、⑥授業評価アンケートの集計結果の順に報告した(特徴的な報告は次のとおり)。

①生徒用の集計結果:ICT教育に関わり、「先生方は授業、ホームルーム活動、部活動などでプロジェクターやパソコンなどを活用している」では全学年で肯定的回答が90%以上となり、全クラスで電子黒板が設置されて以来ずっと90%を維持している。

②保護者用の集計結果:今年度はウェブ回答を行ったところ92.6%と回答率が上がった。挨拶については生徒用も保護者用でも肯定的回答の数値が下がっている。

③教員用の集計結果:昨年度指摘があった若手教員の満足度では、若手教員が自主的に研修を行ったことなどで数値が上昇した。

④自由記述:生徒からは、校則への不満、特に休日の部活動時の制服での登下校、保護者からは進路の情報提供をより詳しくしてほしいなどの要望があった。

⑤学校側の分析結果:各集計結果や要望を踏まえ、次年度に向け、教志コースの教員体制・授業科目の点検見直し、平日の学習時間の減少についての対応策の検討、生徒の要望であるクラブジャージでの休日登下校の検討などを行っていく。

⑥授業評価アンケートの集計結果:例年実技系が高く、座学系が低かったが、今年度は座学の方が満足度が高い結果となった。

・ジャージ登校は実施するのか。

→休日限定で、柔軟に対応しようと考えている。

・「先生が半分くらい挨拶を返さない」について、人として先生には挨拶してほしい。(柏原)

→1対1と集団の時と違う。生徒からは少ない。

・大学でも挨拶して返ってこないが、先生から挨拶していただくよう取り組んでほしい。(本村)

・挨拶する先生に信頼を寄せる。授業を聞こうという一歩だ。(柏原)

・スマホの利用時間について、家庭でのルールを作るような話にもっていかなければならない。(本村)

→スマホのルール作りは学校ではできている。入学式後に講習会を行っている。

・相澤首席には生徒たちのスマホ利用時間の分析をしてほしい。また講習会も100%専門家に任せるのではなく、学校から生徒の実態を保護者に説明してから専門家の話を聞くなどしてもらうのはどうか。(米津)

→生徒には、勉強の邪魔になるので、「22時以降のメールは返信しなくてよい」とも言っている。

・若手の満足度の数値が上がっている。どんな取組を行ったのか。(米津)

→先生たちの資質が高い。若手のリーダーが自主的に内規の読み合せなどの研修を行った。

・ICT活用95%はすごい。授業へのテコ入れはどうか。(本村)

→教科書とノートだけでは生徒の頭が下を向いているが、ICTでは顔が上を向く。

・教員のアンケート回収率が80%は低い。回収率を上げる必要がある。(米津)

→回収の工夫をして回収率を上げる。